



# 岐剣連 広報

第 54 号

令和6年6月1日



岐阜県剣道選手権大会の一コマ

岐阜県剣道連盟

# 目 次

会長あいさつ .....	1
理事長就任あいさつ .....	2
理事長辞任あいさつ .....	3
令和6年度・7年度 新役員 .....	4
祝 昇段 .....	5
全国大会の成績 .....	6
鹿児島国体 .....	6
東海ブロック大会 .....	7
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 .....	7
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 .....	8
全日本選手権大会に出場して .....	8
全日本女子選手権大会に出場して .....	9
東海四県大会 .....	9
全国青年大会 .....	10
岐阜県剣道選手権大会 .....	11
東西対抗・六地区大会 .....	11
県民スポーツ大会 .....	13
生涯剣道 .....	13
少年剣道 .....	15
中学剣道の記録 .....	17
高校剣道の記録 .....	20
警察剣道 .....	24
学校剣道連盟の活動 .....	25
道場連盟の活動 .....	25
実業団の活動 .....	26
居合道の活動 .....	27
事務局だより .....	28
令和6年度事業計画	

# ごあいさつ



岐阜県剣道連盟

会長 堤 俊彦

会員の皆様には、日頃より本連盟発展のために御尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の五月から新型コロナウイルス感染症の位置づけが、五類感染症になり、剣道の大会や講習会等、多くの皆様方に参加いただき開催することができました。今年も、小学生から大人まで、より多くの皆様が大会に参加し活躍できる機会を考えてまいります。

また、一年後に開催することになりました「全国健康福祉祭剣道交流大会」につきましても、全国から来ていただく多くの選手や役員・大会関係者の皆様方に心に残る大会になるよう準備を進めるとともに、選手の皆様には、岐阜県の代表選手として、頑張っていたくための強化・稽古会を行い、レベルアップを図っていただきたいと思います。

今回ここに「第五十四号岐剣連広報」を発行するにあたり、一年間取り組んできた活動をはじめ全国大会や県大会で活躍された皆様の試合結果や反省点などを掲載させていただきました。今後の試合や剣道修練に活かしていただければと思います。

今後も皆様の御協力を賜りながら、伝統ある剣道をさらに普及・発展させるため、広報活動にも力を入れ、連盟の強化に取り組んでまいります。

会員の皆様の益々の御健勝をお祈り申し上げて、あいさついたします。

# 就任あいさつ



岐阜県剣道連盟

理事長 木下博文

ご挨拶申し上げます。

このたびは、岐阜県剣道連盟理事長に就任するにあたり、ご挨拶をさせていただきますこと、心より感謝申し上げます。

剣道は、日本の伝統的な武道であり、その精神と技術は、素晴らしいものです。この素晴らしい剣道の世界に携わることができ、深く感謝するとともに大きな喜びとするところであります。

私は、剣道連盟理事長として、剣道の普及と発展のために尽力いたします。県内の競技レベル向上や、剣道の文化と伝統に全力を尽くす所存です。

また、剣道を通じて、人間性の向上や精神力の養成にも力を注ぎたいと考えております。剣道の厳しさと美しさ、そして剣道の理念を胸に、日々の稽古に励むことにより、社会貢献の一翼を担えるよう努めてまいります。

剣道連盟を盛り上げ、一層の発展を告げるために、皆様と力を合わせてまいりたいと考えております。ご意見やご指導をいただければ幸いです。

最後に、関係者の皆様からのご感謝と敬意を表し、剣道界の発展に尽力してまいりますので、引き続き、ご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

# 辞任あいさつ



岐阜県剣道連盟

前理事長 下島 貴代一

一言ご挨拶を申し上げます。このたび岐阜県剣道連盟理事長職を辞任させていただくことになりました。

平成28年4月以来今日まで8年間の在任中、堤会長様をはじめ会員皆様には公私にわたり格別のご指導を賜り誠にありがとうございます。  
ありがとうございました。

ここに改めて感謝と御礼を申し上げます。

さて後任の木下博文先生は、剣道はもとより聡明で大変立派な方で、本連盟の更なる発展を確信しております。

むすびといたしまして、岐阜県剣道連盟の益々の発展と会員皆様のご健勝・ご多幸をこころからご祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

# 令和六年度・七年度 新役員

## 会長

堤 俊彦

## 副会長

野林 忠洋

## 顧問

下島 貴代一

## 相談役

櫻井 鋭治  
村瀬 隆平  
山瀬 義進  
金子 節次  
古橋 節次

## 理事長

木下 博文

## 常任理事

浅野 英二 (岐阜)  
小池 徳久 (西濃)  
三輪 真司 (中濃)  
三好 史恭 (加茂)  
野中 彦彦 (東濃)  
山崎 昌彦 (飛騨)  
杉田 龍彦 (学飛)  
近藤 宏治 (警校)  
木島 幸治 (会刑)  
青木 秀幸 (会指)  
杉岡 孝達 (会指)

## 理事

原 廣吉 (岐阜)  
林 俊彦 (岐阜)  
安藤 兼太郎 (岐阜)  
木下 博文 (西濃)  
神谷 憲一 (西濃)  
菊池 保文 (中濃)  
水田 三千夫 (加茂)  
安部 成信 (東濃)  
塚本 正寿 (東濃)  
森本 繁司 (飛騨)  
稲田 尚行 (飛騨)  
松井 直也 (高学)  
林 直隆 (中校)  
参川 憲昭 (居学)  
都直 孝昭 (実業団)  
太田 博文 (道連)

## 監事

小林 良三 (飛騨)  
渡邊 司 (関)

## 評議員

福富 保博 (岐阜)  
古田 隆洋 (岐阜)  
千田 聡代 (岐阜)  
時田 ゆかり (羽島)  
櫻井 智明 (各務原)  
小栗 芳明 (本巣)  
吉田 浩基 (羽島郡)  
渡邊 和泉 (山県)  
篠田 透泉 (大垣市)  
早野 壽人 (大垣市)  
松本 幸隆 (養老)

高智 (不破)  
松本 哲也 (海津)  
竹中 春人 (揖斐)  
野口 正人 (関)  
古田 秀文 (美濃)  
森藤 啓吉 (郡上)  
富多 利彦 (加茂)  
服部 光治 (可児)  
鈴木 史史 (多治見)  
山本 秀樹 (土岐)  
川畑 一樹 (瑞浪)  
小川 智明 (恵那)  
岩木 克也 (中津川)  
山方 康也 (高山)  
山中 研生 (下呂)  
板屋 洋一 (飛騨)

## 審査員選考委員

林 俊彦  
青木 宏達  
野林 直也  
下野 貴代一  
下島 勝郎  
神山 貴代一  
木下 憲昭  
参川 直也 (高校)  
松井 直也 (中学)  
林 隆一 (成年男子)  
※白川 順一 (成年女子)  
※富多 ちほり (少年)  
※加藤 洋基 (少年)  
※金子 宣樹 (少年)  
○居合道  
○学識経験者  
○範士  
○範士  
○理事  
○理事  
○教士  
○教士  
○学識経験者  
○事務局長  
○事務局長  
○専従職員  
○事務局員  
林 俊彦  
青木 宏達  
野林 直也  
下野 貴代一  
下島 勝郎  
神山 貴代一  
木下 憲昭  
参川 直也 (高校)  
松井 直也 (中学)  
林 隆一 (成年男子)  
※白川 順一 (成年女子)  
※富多 ちほり (少年)  
※加藤 洋基 (少年)  
※金子 宣樹 (少年)  
○普及担当  
○山崎 昌彦  
○杉岡 孝子・原 廣吉  
○富多 ちほり  
○矢澤 夏女 (居合)  
○三好 史恭・神谷 憲一  
○浅野 英二  
○廣報担当  
○ネリン担当  
○(兼)三輪 真司  
○神谷 正敏・※櫻井 智明  
○河合 良明

## 理事・業務担当一覧

◎総務担当  
●三輪 真司  
林 俊彦・菊池 保文  
◎財務担当  
●野中 孝彦  
塚本 正寿・安藤兼太郎  
◎審査担当  
●杉田 龍彦  
安部 成信・稲田 尚行  
◎講習担当  
●青木 宏達  
水田三千夫・都竹 直孝  
◎大会担当  
●近藤 宏治  
太田 博文・森本 繁司  
◎強化担当  
●木島 秀幸  
小池 徳久  
参川 憲昭 (居合)  
松井 直也 (高校)  
林 隆一 (中学)  
※白川 順一 (成年男子)  
※富多 ちほり (成年女子)  
※加藤 洋基 (少年)  
※金子 宣樹 (少年)  
◎普及担当  
●山崎 昌彦  
○杉岡 孝子・原 廣吉  
○富多 ちほり  
○矢澤 夏女 (居合)  
○三好 史恭・神谷 憲一  
○浅野 英二  
◎廣報担当  
○ネリン担当  
○(兼)三輪 真司  
○神谷 正敏・※櫻井 智明  
○河合 良明

(●印は委員長)  
(※印は理事以外)

# 祝昇段

令和五年度の剣道・居合道の称号、段位（六段以上）合格者は、次の皆さんです。合格おめでとうございます。更なるご精武を祈念します。

## 《剣道称号》

●五月六日 京都

錬士 浅野 孝介（大垣）

川合 秀俊（岐阜）

松本 将史（多治見）

森 俊樹（可児）

植田 和明（中津川）

成瀬有紀恵（加茂）

曾我司保子（加茂）

松井 茂幸（関）

山本登志隆（恵那市）

市原ゆかり（関）

安藤 恵二（瑞浪市）

山路 基洋（瑞浪市）

平野 千尋（美濃）

窪田 哲也（岐阜）

森 茂博（関）

井藤 宏司（岐阜）

杉山 豊和（本巢）

村瀬 智泰（関）

山本 学（可児）

藤原 精起（揖斐）

小池 悦子（養老）

早野 壽人（大垣）

松本 幸隆（不破）

伊藤 正朗（中津川）

## 《剣道七段》

●五月十三日 愛知

## 《剣道六段》

●五月十四日 愛知

矢野由香里（可児）

伊藤 篤史（海津）

岡本 涉（可児）

堀 篤（揖斐）

川上 二郎（加茂）

川端 邦裕（各務原）

渡辺 信之（関）

鈴木 俊之（関）

井上 哲也（本巢）

所 勇治（揖斐）

## 《居合道六段》

●七月二十一日 栃木

秋田 幸寛（加茂）

## 《剣道七段》

●八月五日 新潟

杉山 洋子（本巢）

尾里 隆文（下呂）

渡邊佐知子（山県）

## 《剣道六段》

●八月六日 新潟

加納 悟（岐阜）

## 《剣道七段》

●十一月十一日 愛知

樹下 和央（岐阜）

石垣 徳久（高山）

岸 智博（本巢）

## 《剣道六段》

●十一月十二日 愛知

平澤 直弥（大垣）

長屋 貴則（恵那市）

橋本 達也（高山）

竹中 登己（揖斐）

前嶋 秀典（可児）

遠藤 公人（各務原）

安藤 真（土岐）

村井 重隆（可児）

辰井 一成（各務原）

加藤 健志（多治見）

渡辺 数人（岐阜）

## 《剣道七段》

●十一月十六日 東京

真田 和明（羽島郡）

## 《剣道称号》

●十一月十五日 東京

伊藤 崇司（岐阜）

早矢仕沙紀（岐阜）

山中 進平（岐阜）

櫻井 貴幸（岐阜）

荒川 佳洸（可児）

田中 亮司（大垣）

鈴木 晃司（各務原）

幅 重喜（美濃）

鳥澤 敦（加茂）

大野 一美（本巢）

後藤 一広（本巢）

西尾 太志（恵那市）

金子 史朗（中津川）

伊藤 隆（各務原）

錬士

中川 節絵（岐阜）

後藤 弓江（関）

益田亜希子（岐阜）

秋田 幸寛（加茂）

柘植 紀子（加茂）

安田 広英（岐阜）

楨林 優（可児）

石原 幸一（加茂）

加藤 治良（多治見）

## 《居合道称号》

●十一月十五日 東京

錬士 志津野泰幸（岐阜）

中川由紀子（岐阜）

## 《居合道六段》

●十二月十日 東京

早野 充浩（大垣）

## 《剣道七段》

●二月十七日 長野

鷺見 喜久（郡上）

山田 貴一（土岐）

渡邊 和泉（山県）

小木曾 要（多治見）

中西ひろし（岐阜）

## 《剣道六段》

●二月十八日 長野

後藤 克隼（大垣）

## 《居合道六段》

●三月三日 京都

国保 怜（加茂）



# 全国大会の成績

## 国民体育大会

### 燃ゆる感動がごしま国体

#### 成年男子監督 近藤 宏治

令和2年に予定されていた「第75回国民体育大会」が、新型コロナウイルス感染症の影響で延期されましたが、3年越しに、「特別国民体育大会 燃ゆる感動がごしま国体」として開催され、剣道競技は、霧島市牧園アリーナで行われました。

#### 成年男子

- 先鋒 松井謙之介 (岐阜県警察)
- 次鋒 伊藤 崇司 (岐阜県警察)
- 中堅 野田 了 (岐阜県警察)
- 副将 樽本 吉秋 (岐阜県警察)
- 大将 浅野 英二 (岐阜県警察)

#### 1回戦 香川県

先鋒 松井 自身初の県代表としての舞台で、緊張からか普段の力を出し切れず、小手の2本負け。次鋒 伊藤 急遽の選手交代であったが、落ち着いた試合運びで、小手の1本勝ち。中堅 野田 積極的に技を出し、果敢に攻めるも決め手を欠き引き分け。副将 樽本 立ち上がりから、積極的な姿勢で対等に試合を進めていたが、終盤に一瞬の隙を突

かれ面の1本負け。大将 浅野 チームを勝利に導くには、2本勝ちをし、代表戦に持ち込まなければならぬ厳しい状況でした。相手もその状況承知の戦法で、果敢に攻め打って出るもかわされ、終盤、面を決められ1本負けでした。

結果は、1対3で敗退しました。

成年男子は、ここ数年1回戦負けが続いています。来年こそは、1回戦を突破し、ベスト8を目指して取り組みたいと思いますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

本大会に際しまして、ご支援、ご協力をいただきました皆様へ感謝いたします。

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
香川県	福家	森本	大喜多	松本	玉浦	④ ③
	ココ			メ	メ	
岐阜県		コ				① ①
	松井	伊藤		野田	樽本	

### 鹿児島国体に出場して

#### 成年女子監督 荻田 ひろ美

先鋒 外山 菜緒

中堅 猪俣ひかり

大将 中川 節絵

これまでの常連のメンバーではなく、初めて組んだメンバーでした。今回はまさにこの3人で「チームで勝ち取った国体5位」となりました。

ブロック大会3試合、本国体2試合、すべての試合で1本、1勝が勝敗を左右するものでした。特にブロック大会の愛知・三重戦では大将が勝たなければならぬ状況で、大将中川が落ち着いた試合展開で見事勝利することができました。こうして得た本戦への出場権だったので、選手はそれぞれで時間を作り出し稽古に励みました。3人で集まって稽古をすることが難しかったのですが、遠征や集まれる時には、お互いに声を掛け合い、チームワークを大事に取り組みました。その中で中堅猪俣の安定した試合ぶりや調子の良さが、チームのムードをさらに上げていたと思います。

鹿児島国体1回戦は徳島県。四国ブロック大会やその前に行われた都道府県大会の様子をYouTubeで確認したり、情報収集をしたりしながら分析し稽古に取り入れられました。その中で徳島県の先鋒は力もあり、四国ブロック大会では「先鋒が勝って勝つ」パターンだったことから、先鋒外山にとってはかなりのプレッシャーがあったと思います。しかし、見事な一出小

手」を取り1勝。岐阜県警特練としての意地を見せた試合でした。続く中堅猪俣も安定の2本勝ちで緊張の1回戦を勝ち抜くことができました。

続く2回戦は宮崎県。九州大会を勝ち上がっただけあり、実力者が揃っています。特に大将興相選手は言うまでもなく一流選手です。岐阜県としては先手必勝パターンで臨みました。先鋒戦、始まって間もなく外山の得意な「出ばな面」が決まりました。会場からもため息が漏れるほど本場に素晴らしい1本でした。後半は少し守りに入ってしまった1本とられ引き分け。中堅猪俣も攻める試合をするも引き分け。大将中川にとつて厳しい展開となりました。しかし興相選手に対して攻めた試合ができました。1本取られてからも、攻めて、攻めて頑張りました。残念ながら時間となり結果は負けました。悔いなく戦えました。

悔いなく戦い終えられたのには、選手のそれまでの努力があったことほもちろん、遠く鹿児島まできてくれた「岩田団長、足立副団長率いる岐阜わかくさ応援団」の応援が選手の背中を押してくれたのは間違いないです。いつも精一杯応援してくれるこんな仲間がいるから、楽しく剣道ができ、共に高まっている岐阜県女子としてのまとまりがあるのです。わかくさ応援団の皆さんには本当に感謝しかありません。また、縁の下の力持ちである富多ちはり先生をはじめ、たくさんの方のご指導が今回の結果につながりまし





成年女子岐阜県チーム

た。少しでも経験を積んで試合に臨めるよう遠征を計画してくださり、どこに行ってもストレスなく稽古や試合に集中できるような手続きをしてください。富多先生という大黒柱がみえるからこそ、これまで、今回も成績が残せたのだと思います。私たちは常にこうして一陰で支えてくださる方のおかげで安心して剣道が出来ます。自分だけの力ではなく、たくさんの方に支えられていることを忘れず、感謝の気持ちをもって今後も邁進していくよう頑張ります。

## 第44回東海ブロック大会

令和五年度国民体育大会第四十四回東海ブロック大会剣道競技が、八月二十日（日）三重県亀山市西野公園体育館で開催されました。

東海四県の三重、愛知、静岡、岐阜でリーグ戦方式で行われ、岐阜県は、成年女子が、一位の好成績を収めました。試合結果は、次のとおりです。

### 成年女子の部

県名	愛知	静岡	岐阜	三重	勝数	勝者数	勝本数	順位
愛知	—	④/②	②/①	②/①	2	4	8	2
静岡	①/①	—	①/①	①/①	0	2	2	4
岐阜	②/②	①/①	—	②/②	3	5	5	1
三重	①/①	②/①	①/①	—	1	2	3	3



### 少年女子の部

県名	愛知	静岡	岐阜	三重	勝数	勝者数	勝本数	順位
愛知	—	③/③	①/①	②/①	1	4	6	3
静岡	②/②	—	②/①	①/①	0	3	4	4
岐阜	⑤/④	③/③	—	③/①	2	8	11	2
三重	④/③	②/②	⑤/②	—	3	7	11	1

### 少年男子の部

県名	愛知	静岡	岐阜	三重	勝数	勝者数	勝本数	順位
愛知	—	②/②	④/②	⑤/②	2	6	11	2
静岡	③/②	—	②/①	①/①	3	4	6	1
岐阜	②/①	①/①	—	②/①	0	2	5	4
三重	③/①	①/①	③/②	—	1	3	6	3

## 第71回 全日本都道府県対抗 剣道優勝大会

### 男子監督 近藤 宏治

第71回全日本都道府県対抗剣道優勝大会が4月29日、エディオンアリーナ大阪において開催されました。

この大会の出場選手資格は、先鋒高校生、次鋒大学生、五将18歳以上35歳未満（警察職員、教職員を除く）、大将50歳以上（警察職員、教職員を除く）、大将50歳以上の総合力が必要な大会となっています。

当県は、先鋒、中堅は推薦、次鋒、五将、三将、副将、大将は予選会を行い、選手を選考した結果、

先鋒 黒井 洸希（済美高校）  
 次鋒 土屋 壮平（中部学院大学）  
 五将 中西 港（会社員）  
 中堅 坂本 太一（中部学院大学）  
 三将 野田 了（岐阜県警察）  
 副将 樹下 和央（岐阜県刑務所）  
 大将 森井 俊秀（日本耐酸塩工業）  
 のメンバーに決定し、試合に臨みました。

1回戦は、青森県と対戦しました。  
 先鋒 黒井 上段からの面の2本勝ち。次鋒 土屋 先鋒の勢いそのままの小手、胴の2本勝ち。5将 中西 素晴らしい小手からの面を先取るも、終盤面を決められ引き分け。中堅 坂本 気迫あふれる試合運びで、小手と突きのみ2本勝ち。3将 野田、副将 樹下ともに1本負けを喫するも、大将 森井 面の1本勝ちの結果、4対2で勝利しました。  
 2回戦は、福岡県と対戦しました。  
 先鋒 黒井、次鋒 土屋は、善戦するも両

1 回戦

	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	
青森県	金枝	神	佐藤	逢坂	相馬	逢坂	渡邊	3/2
			メ		メ	ド		
岐阜県	メメ	コド	メ	コツ			メ	8/4
	黒井	土屋	中西	坂本	野田	樹下	森井	

者とも1本負け、5将中西突きの一本勝ち。中堅坂本粘りの引き分け、3将野田面を先取しその1本を守り切り1本勝ち。この時点で勝者数、本数とも同点となり、勝敗の行方は副将、大将に委ねられました。副将 樹下 普段どおりの心境、動きに見えましたが、相手の鋭い面に対応することができず面の2本負け。大将 森井、2本勝ちで代表戦に持ち込むという厳しい状況で、果敢に攻めるも、相手にかわされ引き分けとなり、2対3で惜しくも敗退しました。福岡県は、その後勝ち進み、決勝戦では敗れたものの準優勝となりました。福岡県に善戦するなど、選手は自分の力を出し切った素晴らしい試合を展開しました。本大会で得た経験を今後の剣道人生に生かしていただきたいと思っています。本大会の出場の際につきまして、ご支援、ご協力をいただきました皆様には厚くお礼申し上げます。

2 回戦

	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将	
福岡県	関	池田	西村	小森	牧島	林田	大淵	4/3
	メ	コ				メメ		
岐阜県			ツ		メ			2/2
	黒井	土屋	中西	坂本	野田	樹下	森井	

第15回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

監督 富多 ちはり

7月9日(日) 日本武道館において、第15回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会が開催されました。昨年から選手構成が5人制から7人制へと変更になりました。5将以降のポジションが年齢条件のみで区分され、職業別の縛りがないことが、男性とは違う女性の大会の特徴でもあります。そして今年、試合時間が5分から4分になり、引き分けもあることから、試合の行方が予測できないところもありました。

- 今年の岐阜のメンバーです。
- 先鋒 若尾 樺子 (高山西高校)
  - 次鋒 樋口 恵淑 (鹿屋体育大学)
  - 5将 外山 菜緒 (岐阜県警)
  - 中堅 竹村奈緒美 (会社員)

3将 猪俣ひかり (刑務官)  
副将 中川 節絵 (教員)  
大将 荻田ひろ美 (教員)

高校生を除いて、各ポジションで予選会をして、このメンバーで挑みました。大会前日は、早稲田大学の道場をお借りして練習を行いました。1本の冴え、気持ちの充実など、大会に向けての選手たちの調子は万全でした。

大会当日です。コロナ感染症による観客動員数の制限も解かれ、会場内に活気が戻ってきました。岐阜県の初戦は京都府です。昨年の優勝チームです。しかし、そのことは考えず目の前の試合に集中するだけです。お互いが初戦ということもあり、先鋒から5将までは慎重な試合運びとなり、引き分けが続きました。中堅、3将では、優勝チームのプライドと負けられないという強気の試合に押され、両者とも1本負けとなりました。後がないところでしたが、副将も引き分けに終わり岐阜の敗退が決まりました。最後は大将が勝ちを収めて、試合を締められました。大将まで繋ぐことが出来ず、悔しい初戦敗退となりました。その後京都府は次の埼玉県に負け、勢いそのまま埼玉が優勝をしました。各都道府県の実力は拮抗しています。波に乗れば、どのチームも上位進出のチャンスがあるのは、第1回から大会を見ている私自身が感じています。

選手たちは、大会まで時間を作り、本当によく稽古をしていました。「繋いで勝つ」「チーム力で勝つ」強い岐阜の復活を目指してきましたが、力を発揮することができず、悔しさでいっぱいでした。現実を受け止め、次の目標へと切り替えて、

今後とも地道に頑張っていきたいと思えます。遠いところから応援に駆けつけてくれた家族や仲間たち、岐阜の地で応援をしてくれたたくさんの方々、本当にありがとうございました。強い岐阜復活のために、また一緒に頑張っていきたいと思います。

第七十一回 全日本剣道選手権大会に出場して

江原 寛二



令和五年十一月三日、日本武道館において開催された第七十二回全日本剣道選手権大会に岐阜県の代表選手として出場させていただきました。

全日本剣道選手権は、私が小さい頃から父親と毎年テレビを通して観戦し、いつか出場したいと思った夢の舞台でした。それが今回、二十七歳で初出場をすることができ単純に嬉しく思います。

結果は、同じく初出場の広島県代表の粟田選手に負けました。

今回、このような機会をいただきましたので、私がこの大会を通じて感じたことを述べさせていただきます。

一つ目は、楽しむことです。

私は、試合や審査などその日に結果を出すために稽古に励みます。本番は緊張や様々な思いを持って挑むことになり、思うような動きが出来ないことがあるんですがそ

の日に結果を出すために頑張ることは私も皆さまもやっていると思います。あとはその頑張ったことを本番で出せるか出せないかという点で私自身は楽しむことを心がけています。勝ち負けという結果は後で出るもの。結果を追うよりも自分の全力を楽しめば結果は向こうから来てくれます。

二つ目は、感謝することです。

私は、現在、剣道特別訓練員の主将をやらせていただいています。

特練生活十四年間に剣道を通じて職域関係なく様々な人達と剣を交え、言葉を変えずなかで剣道だけでなく自分自身を成長させていたたく機会をたくさんいただきました。本当に感謝しかありません。

三つ目は、絶対に諦めないことです。

私は、決して剣道が強いと言われる人間ではありません。何度も負けて悩み考え稽古をやつての繰り返しをしました。その結果選手権に出場する権利を獲得しました。皆さんも夢や目標があったり、これから持つ人もいると思います。その夢や目標に對してうまくいかなかったり壁にぶち当たって悩んだりしてしまうときもあると思います。それは当たり前です。夢や目標はそれだけ大きく達成するのが難しいことです。だから、絶対に諦めずに追い続けて下さい。求めて追い続けなければ叶いません。

以上私が感じた三つを紹介させていただきました。皆さまの今後の活動に二つでも参考となれば幸いです。

私自身もまだまだ精進するために努力していきます。今後とも御指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

## 第六十二回 全日本女子剣道選手権大会に出場して

阿部 なるみ



令和五年九月三日に行われた全日本女子剣道選手権大会に出場させていただきました。決して簡単に味わうことのできない経験をすることができました。全国トップの選手が集まるこの大会で岐阜県の代表として出場させていただき、本当にありがとうございます。結果は一回戦延長の末負けてしまいました。大会に向け全力で準備をし挑めたこと、この大舞台で自分の剣道をやり切れたことは自分にとって良き経験となり、更なる上を目指す良いきっかけとなりました。

わかくさの稽古や、普段の笠松刑務所の稽古でも沢山の激励をしていただき、試合当日も大人数で会場まで足を運び、どこも県よりも声援と拍手で盛り上げて下さり、自分は沢山の人の応援されているという強い気持ちで試合することができました。そして、改めて本当に温い人達の中で大好きな剣道ができているのだと実感しました。本当にありがとうございます。

私自身もまだまだ精進するために努力していきます。今後とも御指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

## 東海四県対抗剣道大会

男子2位 女子3位

監督 近藤 宏治

本大会は、令和6年3月3日(日)名古屋千種スポーツセンターにおいて開催されました。

女子については、2位が続いておりしばらく優勝から遠ざかっている状況でしたので、今年こそは、という意気込みで臨みました。

結果は、安定した力を発揮した愛知県が全勝で優勝し、当県は、1勝1敗1分の3位で悔しい結果となりました。出場した選手は、試合で得た課題を克服するよう、今後も稽古に励み、来年こそ優勝、

を目指してもらいたい。

男子は、全6試合中5試合が大將戦にもつれる。今までにない白熱した大会となりました。結果は、1勝1敗1分の2位でした。各選手が最後まで諦めることなく、後へへと繋いだことにより3試合とも大將戦となる熱戦になったのだらうと思います。各選手の頑張りと共に、大將を務めた森井選手と、全勝賞を獲得した久木原選手に敬意を表したいと思います。

選手の中には、本大会に快く出場していただきましたことに感謝申し上げます。と同時に、各選手の今後の活躍を祈念いたします。出場選手、試合結果は、以下のとおりです。

### 女子の部

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將	勝敗
愛知県	井手野	小川	迫	今道	森島	3/2
岐阜県	生出	阿部	猪俣	佐合	青豆	1/0

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將	勝敗
三重県	長谷川	玉置	寺下	小林	安達	2/1
岐阜県	生出	阿部	猪俣	佐合	青豆	2/1

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將	勝敗
静岡県	新井	園田	寺田	神田	井口	2/1
岐阜県	生出	阿部	猪俣	佐合	青豆	4/3

	先鋒	次鋒	10将	9将	8将	7将	6将	5将	4将	3将	副将	大将	勝敗
愛知県	安藤	茅根	久田松	吉武	海野	大川	今泉	近藤	佐藤	溝口	上山	近本	
	コ		メ コ	メ		メ				コ		メ ド	8 4
岐阜県	反 メ		コ			メ		ド ド	コ			メ	8 3
	松井	村瀬	栗山	長田	五十嵐	岩崎	白川	村上	久木原	藤井	宮崎	森井	

	先鋒	次鋒	10将	9将	8将	7将	6将	5将	4将	3将	副将	大将	勝敗
三重県	喜多	竹内	野田	井上 謙	井上 華	下地	笠原	西村	駒田	河合	佐藤	浜口	
	メ					メ		コ コ		メ メ			6 4
岐阜県		メ	メ コ		ド				メ メ				6 4
	松井	村瀬	栗山	長田	五十嵐	岩崎	白川	村上	久木原	藤井	宮崎	森井	

	先鋒	次鋒	10将	9将	8将	7将	6将	5将	4将	3将	副将	大将	勝敗
静岡県	楠	森田	菊池	吉富	秀徳	原田	小屋	野崎	片岡	松井	大村	高田	
			ド	コ	メ	メ				メ メ	ド メ		8 5
岐阜県		メ				コ メ	メ コ	メ メ	コ	コ	メ	コ	11 6
	松井	村瀬	栗山	長田	五十嵐	岩崎	白川	村上	久木原	藤井	宮崎	森井	

総合成績表 女子の部

県名	岐阜	三重	静岡	愛知	勝数	勝者数	勝本数	順位
岐阜県		2 1	4 3	1 0	1	4	7	3
三重県	2 1		5 2	1 1	1	4	8	2
静岡県	2 1	1 0		0 0	0	1	3	4
愛知県	3 2	4 3	6 3		3	8	13	1

総合成績表 男子の部

県名	岐阜	三重	静岡	愛知	勝数	勝者数	勝本数	順位
岐阜県		6 4	11 6	8 3	1	13	25	2
三重県	6 4		10 5	8 2	1	11	24	3
静岡県	8 5	9 4		10 5	1	14	27	4
愛知県	8 4	9 3	4 2		2	9	21	1

### 第七十二回全国青年剣道大会

大将 宮田 和枝

十一月十一日、十二日、東京武道館にて第七十一回全国青年剣道大会が開催されました。

先鋒 境井 葵(会社員)  
中堅 市来 真林(会社員)  
大将 宮田 和枝(会社員)

今大会では優勝することを目標に試合に臨みました。

一回戦、佐賀県との対戦。先鋒引き分け。中堅、相手が小手に来たところを返し面で一本勝ち。大将引き分け。一対〇で二回戦へ進みました。

二回戦、千葉県との対戦。先鋒、返し面を取られますが逆胴を取り返し対に持ち込みました。両者とも攻め合いが続きましたが最後飛び込み小手を取られ負け。中堅引き分け。大将、合い小手面で一本勝ち。代表戦になり、千葉県は先鋒、岐阜県は大将との対戦になりました。技を出し攻めるも一本にはならず、相手の攻めに対し手元を上げてしまったところに小手も打ち込まれ二回戦敗退。ベスト8の敢闘賞という結果でした。

千葉県はその後も勝ち上がり優勝しました。去年に引き続き、優勝チームにあと一步というところで敗退しましたが、あと一步を勝ち切る為になが必要なのかを考え、これからの稽古に活かしていきたいです。

勝負で勝つことがすべてではないですが、勝負で勝ち上がっていくには技の技術、気持ち、それらすべてが充実していないといけない。その為にはやはり、

試合に臨むまでの準備が大切だと今大会を通じて改めて学ぶことができました。剣道の時だけでなく普段の生活の中でも常に考え、行動していきたいと思っています。最後に、今大会に参加させていただきありがとうございます。剣道ができることに感謝し、精進してまいります。今後ともご指導よろしくお願いいたします。



女子団体岐阜県チーム

# 岐阜県 剣道選手権

七月八日(土)第六十七回岐阜県剣道選手権大会が、OKBぎふ清流アリーナで開催されました。

新型コロナウイルス感染症も少し落ち着いてきたこともあり、今回は、小学生から高齢者の部まで、十五の部に、六百十人の選手の参加により、熱戦が繰

り広げられました。結果は、次のとおりです。

## ○試合結果

### 小学生低学年の部

- ①三宅 翔大 ②古川 稟惺
- ③門永 悠聖 村井 海人

### 小学生高学年の部

- ①荒井 陽翔 ②瀬木 慎平
- ③渡辺 祥馬 石黒 愛真

### 一般女子30歳未満の部

- ①市来 真林 ②村上 侑季
- ③森 雪菜 境井 葵

### 一般女子30歳以上50歳未満の部

- ①渡邊 聖子 ②清水美紀子
- ③河村めぐみ 河村 純子

### 一般女子50歳以上の部

- ①足立 佳恵 ②後藤 弓江
- ③曾我司保子 益田亜希子

### 初段男子の部

- ①浅田 真翔 ②信國 主弥
- ③川島 唯斗

### 初段女子の部

- ①川島萌々華 ②山本 結心
- ③富松 紗矢

### 二段男子の部

- ①木村 将馬 ②田中 滯生
- ③澤田 賢史 尾藤 真星

### 二段女子の部

- ①廣瀬 和奏 ②小野木優真
- ③笠原 麻帆 幅 美緒

### 三段の部

- ①小林 琢弥 ②藤田 仁平
- ③志田 聖夜 奥平虎之助

### 四段の部

- ①小林 賢哉 ②松井謙之介
- ③新田 家己 水小瀬建彦

### 五段の部

- ①伊藤 雄平 ②横山 周平
- ③東山 祐次 大野 祐史

### 六段の部

- ①伊藤 崇司 ②五十嵐 洸
- ③栗本 匠 安田康次郎

### 七段の部

- ①江原 寛二 ②金子 宜樹
- ③加藤 洋基 樽本 吉秋

### 高齢者の部

- ①山崎 昌彦 ②森下 真次
- ③稲田 尚行 大沼 久夫



熱戦が展開された選手権大会

## 東西対抗 六地区大会

# 大垣市で開催

## 岐阜県東西対抗剣道大会及び 六地区対抗剣道大会

磯部 範彦



各部門優勝者の皆さん

長い夏が終わり、やっと秋めいた爽やかな十月十五日に第四十五回岐阜県東西対抗剣道大会及び第六十一回岐阜県六地区対抗剣道大会が大垣市武道館に於い

て開催されました。

開会式は野林副会長の挨拶に続き、高石審判長の説示があり、コロナ禍における暫定的な審判法について八段の木島先生から説明がありました。午前中は六地区対抗剣道大会が行われ、熱戦が続きました。三チームのリーグ戦で勝ち上がった一位のチームで優勝決定戦を、二位のチームで三位決定戦が行われました。優勝戦は岐阜地区と西濃地区の対戦となり勝者数は三対二でしたが、取得本数は同数という接戦で岐阜地区が優勝となり、中濃地区が五対二で三位となりました。全勝賞には栗山大輝（西濃）、猪俣ひかり（中濃）、石垣徳久（飛驒）、古田陽和（岐阜）、後藤弓江（中濃）の各選手が表彰を受けました。

午後は東西対抗剣道大会がおこなわれ、公開演技こそありませんでしたが、コロナ禍以前と同様に試合が行われたことは嬉しい限りでありました。そして東軍の古田則文監督、西軍の河瀬俊夫監督のもと十七名の選手により試合が展開されました。

過去の対戦成績は、東軍二十二勝、西軍二十二勝と全く互角の成績で今年度の勝敗が目玉となりました。

結果は東軍の四勝、西軍の九勝で西軍の勝利となりました。大会終了後の閉会式に於いて、優秀賞として東軍の青豆浩子選手（飛驒）、清水浩樹選手（可茂）、西軍の金子宜樹選手（岐阜）、宮崎友秀選手（大垣）、松尾祐治選手（大垣）が表彰されました。いずれの選手も素晴らしい面でも勝負を決められ、観戦者の称賛を受けられたのが印象的でありました。

コロナ禍に於いていろんな制限を余儀なくされる中、地道に稽古に励まれてきた結果が出たような気がします。熱気ある試合を展開された選手の皆さんに敬意を表する次第です。

また、本大会の開催担当地区といたしまして関係者の皆様のご協力により、無事終了出来ましたこと感謝を申し上げます。

### 六地区対抗決勝戦の結果

岐阜 5③		西濃 5②	
先鋒	石原 由大	先鋒	栗山 大輝
次鋒	古田 陽和	次鋒	小池 真尋
五将	増田 育海	五将	高木 薫樹
中堅	渡邊 聖子	中堅	今井 由依
三将	野村 亮太	三将	淵野 純平
副将	足立 佳恵	副将	加藤 尚美
大将	藤村 高平	大将	北島 康隆

### 東西対抗戦の結果

東軍 11④		西軍 17⑨	
監督	吉田 則文	監督	河瀬 俊夫
先鋒	岩崎つばさ	先鋒	山北 麻未
次鋒	青豆 浩子	次鋒	高木 眞理子
15将	荒垣 雅行	15将	渡邊 貴佳
14将	藤井 秀人	14将	金子 宜樹
13将	野中 聖司	13将	白川 順一
12将	齋藤 慎哉	12将	高木 和哉
11将	藤井 秀人	11将	佐藤 尚也
10将	清水 浩樹	10将	清水 美貴
中堅	兼松 雅人	中堅	安藤 貴治
8将	小椋 達彦	8将	宮崎 友秀
7将	喜多村 昇	7将	北原 明尚
6将	多治見 修	6将	菱田 秀樹



六地区対抗優勝の岐阜地区

5将	柴田 泰則	1メメ	松尾 祐治
4将	岩木 克也	*	竹中 和春
3将	加藤 信彦	1	金武 政明
副将	日置 友明	1	藤原 隆行
大将	水田 三千夫	1	原 廣吉



東西対抗優勝の西軍

# 第15回 県民スポーツ大会

## 関市で開催

九月十七日(日)県民スポーツ大会剣道競技が、関市武芸川生涯学習センター市武道館で開催されました。

男子二十八チーム、女子十八チームが出場、総勢二百四十人の選手により熱戦が展開されました。

男子の決勝戦は、揖斐郡と岐阜市の対戦となり、接戦の末、揖斐郡が優勝。女子の決勝戦は、高山市と不破郡が対戦となり、高山市が優勝しました。結果は、次のとおりです。

## ○総合成績

- 一位 高山市 二位 岐阜市
- 三位 大垣市 四位 揖斐郡
- 五位 加茂郡 六位 不破郡
- 七位 可児市 八位 多治見市

## ○男子の部

- 一位 揖斐郡 二位 岐阜市
- 三位 加茂郡 四位 大垣市
- 五位 瑞穂市 五位 下呂市
- 五位 郡上市 五位 高山市

## ○女子の部

- 一位 高山市 二位 不破郡
- 三位 可児市 四位 多治見市
- 五位 大垣市 五位 山県市
- 五位 養老郡 五位 美濃加茂市



女子優勝 高山市



男子優勝 揖斐郡



総合優勝 高山市

# 生涯 剣道

## 岐阜県健康福祉祭 剣道交流大会

五月二十八日(日)第三十二回岐阜県健康福祉祭剣道交流大会が、大垣市武道館で開催されました。

午前には三試合会場に分かれ、六地区による対抗団体戦と女子(五十歳以上の部)が行われました。

午後からは、全国健康福祉祭に出場する選手の子選を兼ねた試合となりました。結果は、次のとおりです。

## (一) 団体戦

- 一位 岐阜地区
- 二位 中濃地区
- 三位 東濃地区

## (二) 個人戦

### ○第一部(六十歳以上六十五歳未満)

- 一位 松尾 祐治
- 二位 中村 新吾
- 三位 川村 一成
- 四位 榎林 優

### ○第二部(六十五歳以上七十歳未満の部)

- 一位 日置 友明
- 二位 竹中 和春
- 三位 内田 良治
- 三位 山崎 昌彦

### ○第三部(七十歳以上の部)

- 一位 箕浦 泰雄
- 二位 森下 真次
- 三位 渡辺 修治
- 三位 大沼 久夫

### ○女子の部(五十歳以上の部)

- 一位 曾我司保子
- 二位 青豆 浩子
- 三位 足立 佳恵
- 三位 梅田 好子



団体優勝 岐阜地区

## 全国健康福祉祭 愛媛県大会に参加して

監督 三輪 真司

- 監督 三輪 真司 関市
- 先鋒 松尾 祐治 岐阜市
- 次鋒 中村 新吾 美濃加茂市
- 中堅 川村 一成 揖斐郡

副将 日置 友明 郡上市  
大将 箕浦 基雄 瑞穂市  
交代要員 榎林 優 可児市

十月二十七日にJR名古屋駅に集合。新幹線で岡山駅へ。岡山駅より貸し切りバスで一日目の宿泊先、松山のホテルに午後六時頃に到着しました。

十月二十八日は、愛媛県総合運動公園陸上競技場での総合開会式に参加しました。総合開会式は、(1)式典前アトラクション、(2)式典、(3)メインアトラクションの三部構成で、それぞれに工夫があり、開催の熱い思いが伝わってくるものでした。式典は地元出身のテノール歌手、秋山雅文さんの国歌独唱から始まりました。午後二時頃に散会となり、選手はその後、おもてなしコーナーなどを見学した後、指定されたバスでホテルへ戻りました。参加チームすべての監督は別のバスで愛媛県武道館へ移動し、監督会議を行いました。ホテルに戻った時は夕方6時頃になっていました。

十月二十九日、いよいよ大会の第一日目です。会場の愛媛県武道館は今年度の全国中学校剣道大会も開催されましたが、木材がふんだんに使用された大変威厳のある会場でした。開会式前にはアトラクションとして和太鼓の競演があり、大会の雰囲気盛り上げてもらいました。開会式後には、遠藤寛弘・門田睦志両教士八段による日本剣道形の演武がありました。毎回特別表彰として高齢参加選手の表彰がありますが、今回の最高齢者は高知県の八十三歳の方でした。

全国各地から六十七チームが参加し、一日目は十六ブロックに分けられた予選

リーグ、二日目は各ブロック一位チームによる決勝トーナメントです。

一試合目、岐阜県は秋田県との対戦でした。先鋒の松尾選手は皆の緊張がピクの中、鮮やかに面二本を奪取。大いに士気を高めてくれました。次鋒の中村選手は過去に全日本選手権の出場経験もある長身選手に小手を取。終盤に面を返され引き分けとなりましたが、見事な試合ぶりでした。中堅川村選手は序盤に面を取られましたが、粘り強く闘志あふれる試合展開の中、見事に小手を取り返し引き分け。一〇とリードして副将日置選手となりました。その重圧は大変かと思いましたが臆することなく、積極的な攻めで中盤に面を取。そのまま時間切れとなりチームとしての勝利が確定しました。大将箕浦選手は落ち着いた試合展開の中、惜しい打突が何本もありました。結果は二一〇で本県の勝ちとなりました。

二試合目は奈良県との対戦でした。直接対戦の無い同一リーグの香川県は、本県が対戦する前に奈良県との対戦を終えており、そのスコアは四一〇で勝利してしまいました。それを見届けてからの試合となりました。先鋒松尾選手の相手は女性の方でした。間合いや技を出すポイントなどやりにくさはありましたが、一試合目同様、積極的な試合展開で面と小手を連取して、チームに弾みを付けました。次鋒中村選手も積極的に攻め続けるも引き分け。中堅川村選手は中盤に面を取りましたが、終盤に面を取り返されました。その後も勇敢に攻め続け旗が上がっても良いような打突もありましたが惜し

くも引き分けとなりました。副将日置選手は相手選手欠場の為不戦勝ち。大将箕浦選手は小手を取、その後も、もう一本を重ねるべく積極的に攻め続けましたが、そのまま時間切れ。一本勝ちとなり、三一〇のスコアでの勝ちとなりました。

決勝トーナメント進出は、香川県・秋田県戦に委ねられました。香川県は二勝以上の勝利で本県を上回ります。先鋒は香川県が勝利。しかし秋田県も奮起して次鋒・中堅戦を取り返しました。副将戦は香川県が勝ち、いよいよ大将戦となりました。先取したのは秋田県でした。その後香川も必死に取り返し、手に汗握る攻防が続きました。が、時間切れで引き分け。両県は本数も同数で試合は引き分けということになりました。結果岐阜県は二勝、香川県は一勝で、我がチームの決勝トーナメント進出が決定しました。薄水を踏む思いでしたが選手皆さんの前向きな姿勢がもたらした結果だと思えます。

翌日はいよいよ決勝トーナメントとなりました。対戦相手は優勝候補筆頭の愛媛県Aチームです。組み合わせが発表された時から「ぜひ愛媛県Aチームとやりましょう。そして何とか一泡吹かせましょう。」が合言葉でした。そしてその念願の試合が始まりました。先鋒松尾選手は数十秒の練り合いの後、思い切りのよい面を放ちました。皆「よし」と思いましたが、残念ながら旗は上がりませんでした。中盤同じような面がありましたがこれも上がらず。終盤に思い切った面に行ったところを返されて胴の一本負けとなりました。次鋒中村選手は粘りま

したが二本負け。あとが無くなった中堅川村選手は闘志を前面に奮闘、惜しい技が何本かありましたが引き分け。副将日置選手、大将箕浦選手とも善戦しましたがともに二本負けとなり〇―四で敗退という結果になりました。スコアは〇―四でしたが内容的にはもう少し接近していたような気がします。再来年の本県開催に向け貴重な経験を積ませてもらえました。なお、愛媛県Aチームは準決勝まですべて四一〇。決勝は三一〇と見事な戦いぶりで優勝しました。

昨年の大会から交代選手が入っています。今年度は榎林選手でした。榎林選手は大会前の強化練習から本大会中の練習まで誰よりも真剣に取り組まれ、何時でも出られる態勢を整えられて見えました。更に選手の心の支えともなり、監督の抜け落ちた配慮不足を常に補っていたいただきました。本場にありがとうございました。試合終了後、本部席横で、愛媛県剣道連盟俊野徹人会長よりメダルを授与していただきました。その際、大会運営資料提供へのお礼と、再来年開催への心暖かい激励のお言葉をいただきました。

選手は今大会で得た経験を迫っている岐阜県大会に活かすべく、思いを新たに松山の地を後にしました。

最後に、関市総合体育館での強化練習会にご参加、ご指導いただきました多くの皆様方に心より感謝申し上げます。

なお、関市での練習会は令和七年度、岐阜県大会終了まで継続の予定です。

この紙面をお借りしまして、今後とも練習会へのご参加、ご指導の程、重ねまして宜しく申し上げます。





愛媛大会出場選手

# 少年剣道

## ◎第48回春季少年剣道錬成大会

六月十一日(日)第四十八回春季少年剣道錬成大会が、OKBぎふ清流アリーナ

ナで開催されました。今回は、小学三～五年生の部、三年生の部、四年生の部、五年生の部、六年生の部の個人試合に九十八団体、六百八十一名の参加者により、トーナメント戦で試合が行われました。新型コロナウイルス感染症により昨年度まで制限されていましたが入場制限は解除されたものの、会場内は窓を開け、冷房を入れ、空気循環を図ることや、選手は面マスク又はシールドを着用するなど、感染対策をとりながらの開催となりました。試合の結果は、次のとおりです。

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	敢賞
12年生の部 (パート1)	鷲見 幸祐 (清心会)	加藤 ありさ (志道館学園)	喜多村 健太 (誠心剣友会)	築瀬 椰為人 (さくら会少年剣道部)
12年生の部 (パート2)	三宅 歩佳 (志道館学園)	竹林 賢人 (志道館学園)	岩崎 義之 (志道館学園)	中尾 咲楽 (中央剣道少年団)
3年生の部 (パート1)	渡瀬 尚 (雙柳館前色道場)	竹林 裕翔 (志道館学園)	坂井 巴 (藤沼第一剣道少年団)	山田 晴道 (悟道館後藤道場)
3年生の部 (パート2)	梶垣 真咲 (八心会)	市川 愛菜 (悟道館後藤道場)	渡邊 丞志 (志道館学園)	川島 颯太 (誠心剣友会)
4年生の部 (パート1)	加藤 優志郎 (志道館学園)	尾原 葵 (志道館学園)	額額 あい (八心会)	箕島 ちひろ (千一会)
4年生の部 (パート2)	青木 湧久 (志道館学園)	古川 稟惺 (悟道館後藤道場)	土橋 未織 (清命館道場剣道教室)	小野 莉一 (さくら会少年剣道部)
4年生の部 (パート3)	三宅 翔大 (志道館学園)	山田 彩純 (志道館学園)	藤井 奏太 (究道館)	片岡 陸人 (さくら会少年剣道部)
5年生の部 (パート1)	本山 旺威 (大垣西部剣道少年団)	島田 琉依 (大垣西部剣道少年団)	島田 あさひ (若鮎剣志会)	森 崇登 (中央剣道少年団)
5年生の部 (パート2)	南 雄大 (大垣西部剣道少年団)	川嶋 權斗 (誠心剣友会)	鎌田 桜 (滝呂剣道少年団)	水野 誠介 (大垣西部剣道少年団)
5年生の部 (パート3)	坂井 瑛介 (藤沼第一剣道少年団)	小嶋 一 (若鮎剣志会)	森山 心結 (八心会)	佐藤 玖龍 (大垣西部剣道少年団)
6年生の部 (パート1)	鈴木 蒼人 (一剣)	渡辺 祥馬 (志道館学園)	内山 隼 (大垣西部剣道少年団)	安田 彪之介 (清心会)
6年生の部 (パート2)	土橋 快都 (清命館道場剣道教室)	加藤 沙弥 (若鮎剣志会)	和田 衣真 (大垣西部剣道少年団)	廣野 莉子 (大垣西部剣道少年団)
6年生の部 (パート3)	大矢 泰平 (さくら会少年剣道部)	内藤 大智 (悟道館後藤道場)	瀬木 慎平 (柳生町少年剣道教室)	前田 颯太 (藤沼第一剣道少年団)
6年生の部 (パート4)	森 奏斗 (神武館神山道場)	伊木 絢咲 (志道館学園)	山本 彩太 (誠心剣友会)	築瀬 恵唯人 (さくら会少年剣道部)



各部門優秀賞の皆さん

## ◎第50回秋季少年剣道錬成大会

十月九日(祝)第五十回秋季少年剣道錬成大会が、OKBぎふ清流アリーナで開催されました。今回は、低学年の部・団体三人制(四年生以下)、低学年の部・団体五人制(四年生以下)、高学年の部・団体三人制(五・六年生)、高学年の部・団体五人制(五・六年生)の部に百四十九団体、五百六十名の参加者により、トーナメント戦で試合が行われました。

低学年・高学年とも基本判定試合と一本勝負の二種目で行われ、準決勝以降は、低学年・高学年とも基本判定試合と三本勝負の試合で行われました。

選手の皆さんは、日頃、指導者の先生から教わった基本技を一本一本確かめるように、懸命に打突する姿が、随所に見られました。

試合の結果は、次のとおりです。

### ○低学年の部(三人制)

- 優勝 さくら会
- 二位 志道館学園
- 三位 神戸町スポーツ少年団
- 三位 高鷲剣道

### ○低学年の部(五人制)

- 優勝 志道館学園
- 二位 悟道館
- 三位 羽島市スポーツ少年団
- 三位 雙柳館前一色

### ○高学年の部(三人制)

- 優勝 さくら会
- 二位 大垣市北小
- 三位 滝呂剣少
- 三位 濟命館

### ○高学年の部(五人制)

- 優勝 濟命館
- 二位 桐生剣道
- 三位 神戸町スポーツ少年団
- 三位 賜生道場



低学年の部(5人制)優勝 志道館学園



低学年の部(3人制)優勝 さくら会



高学年の部(5人制)優勝 濟命館



高学年の部(3人制)優勝 さくら会

## ◎第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

日時：令和5年9月17日(日)  
会場：おおきにアリーナ舞州

### 選手

- 先鋒 五十嵐裕太(誠心剣友会)
- 次鋒 伊木 絢咲(志道館学園)
- 中堅 内山 隼(大垣西部剣道少年団)
- 副将 鈴木 蒼人(一劍)
- 大将 森 奏斗(神武館)

規定大会で上位入賞した総勢14名による厳しい最終選考会(総当たりリーグ戦)を突破した精鋭5名が岐阜県少年選抜チームとして第18回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に出場しました。

強化の一環として選抜チーム所属先、岐阜県警察剣道特別訓練員に御協力いただいたの強化練習、静岡県富士山杯遠征、愛知県剣道道場連盟研修会参加、万全の態勢で全国大会に臨みました。目標は3大会連続の予選リーグ突破です。

予選リーグ初戦、優勝候補の広島県との対戦となりました。善戦するも力の違いを見せつけられ初戦勝利とはなりません。広島県が茨城県に勝利したことからこの時点で3大会連続の予選リーグ突破は叶いませんでした。

自分たちがやってきたことを信じ、気持ちを切り替えて臨んだ予選リーグ第二戦は、先鋒、次鋒の勝利をチームで繋ぎ見事、茨城県に勝利を収めました。大会は初戦で岐阜県に勝利した広島県が見事に3大会ぶりの優勝を決めて幕を閉じました。

強化の過程で妥協することなく、剣道と真剣に向き合った選手は見事でした。今後の彼らの成長に期待します。

最後になりましたが、強化に際し、御指導をいただいた岐阜県剣道連盟、岐阜県剣道道場連盟、岐阜県警察剣道特別訓練員の諸先生方、御協力をいただいた選抜チーム

所属先の皆様、選手保護者様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。ごいしました。  
(文責：加藤 洋基)

# 中学剣道の記録

## ◎ 第二回東海選抜中学校剣道大会

四月三十日

岐阜メモリアルセンター

例年行われていたぎふスポーツフェアの岐阜県中学校選抜剣道大会の形式を変え、東海四県中学校選抜剣道大会を実施した。岐阜県は新人大会ベスト4、愛知、三重、静岡については県の上位2校を推薦してもらい、合計10校による予選リーグ、決勝トーナメントを行った。四月の段階で、東海プロックレベルでの大会を行ったことについては、夏に向けてのいい動機づけとなり、好評を得る大会となった。

### 結果

#### 男子の部

優勝 郡上市立大和中学校

二位 磐田東中学校

三位 浜松市立北浜中学校

鈴鹿市立神戸中学校

#### 女子の部

優勝 鈴鹿市立神戸中学校

二位 東海大学付属静岡翔陽高校中等部

三位 松阪市立嬉野中学校

浜松市立北浜中学校



東海選抜大会 大和中

## ◎ 岐阜県中体連県大会

七月二十二日・二十三日

OKBぎふ清流アリーナ

新型コロナウイルス感染症が五類に分類され、以前のような形式で四年ぶりに大会を実施することができた。本年度より、学校部活動だけでなく岐阜県中体連の許可が下りている地域クラブの参加も可能となった。また、東海大会の団体戦の参加枠が上位8校から4校へと変更となり、参加条件が厳しくなったことで、今後県内のレベルの向上をより一層高めていくことが望まれる。

#### 男子団体

優勝 関ヶ原中学校

二位 大和中学校

三位 美濃加茂中学校

緑陽中学校



中体連県大会 男子優勝 関ヶ原中

#### 女子団体

優勝 大和中学校

二位 郡上東中学校

三位 大垣東中学校

高山東中学校



中体連県大会 女子優勝 大和中

男女とも優勝校が全国大会(松山市開催)への出場権を勝ち取り、上位四校が

東海大会(岐阜開催)に参加することになった。

#### 男子個人の部

優勝 穴戸 貴一(大垣東中学校)

二位 大野 温史(高山南クラブ)

三位 春田 尋斗(大和中学校)

成瀬煌之助(美濃加茂中学校)

五位 松浦 崇大(緑陽中学校)

白井 瑛洸(長森中学校)

大矢 晃平(美濃加茂中学校)

三宅陽一朗(関ヶ原中学校)



中体連 男子個人の部

#### 女子個人の部

優勝 川島萌々華(桜丘中学校)

二位 三宅 真央(関ヶ原中学校)

三位 大野 夏鈴(高山南クラブ)

小嶋 彩(郡上東中学校)

五位 横山 紗来(大和中学校)

小野木優真（大垣東中学校）  
今西 理央（池田中学校）  
佐藤日和梨（白鳥中学校）



中体連 女子個人の部

### ◎中体連東海大会

八月四・五日

岐阜メモリアルセンター

#### 男子団体の部

ベスト8 大和中学校・美濃加茂中学校

#### 女子団体の部

ベスト8 郡上東中学校

#### 男子個人の部

三位 三宅陽一朗（関ヶ原中学校）

#### 女子個人の部

優勝 川島萌々華（桜丘中学校）

川島選手は県として五年ぶりの東海優勝を果たした。



中体連東海大会 女子個人の部



中体連東海大会 男子個人の部

### ◎第五十三回

### 全国中学校剣道大会

八月十八・二十日

愛媛県武道館

#### 男子団体

△関ヶ原中0-3 明豊中（大分）

△関ヶ原中0-1 清水中（福島）

#### 女子団体

△大和中1-3 尚綱中（熊本）

○大和中2-1 愛知中（滋賀）

#### 男子個人

##### 一回戦

△大野コー久保田（鹿児島）コ延下

○穴戸メー山（岩手）

##### 二回戦

△穴戸 ー北条（神奈川）延メ

#### 女子個人

##### 一回戦

○三宅コメー三浦（東京）

##### 二回戦

△三宅 ー尾蔵（石川）延メ

△川島 ー櫻井（茨城）メ

### ◎パナソニック杯都道府県

### 対抗少年剣道優勝大会

九月十七日

おおきにアリーナ舞洲

#### 予選リーグ

○岐阜 2-1 茨城

○岐阜 1-0 鳥取

決勝トーナメント一回戦

○岐阜 1-0 奈良

##### 二回戦

△岐阜 0-1 長崎

選手の多くは、昨年度から強化選手として強化稽古や遠征等を行い、着実に力を付けることができ、その結果、十年ぶりのベスト8進出を果たすことができた。

#### 選手

先鋒 三宅 真央（関ヶ原中）

次鋒 川島萌々華（桜丘中）

中堅 穴戸 貴一（大垣東中）

副将 大野 温史（高山南ク）

大将 三宅陽一朗（関ヶ原中）

補員 大野 夏鈴（高山南ク）



都道府県対抗少年剣道優勝大会

### ◎第五十三回岐阜県

### 中学校新人剣道大会

十一月二十三日

OKBぎふ清流アリーナ

三年生が抜け新チームでの県大会、部員が減少する中で、学校単独チーム、地域クラブと学校間の合同チームの参加

で、男子85チーム、女子73チームでのトーナメントを行った。参加校数についていえば、平成二十九年には、男子120校、女子104校。剣道人口の減少を如実に物語っている。

**男子団体の部**

- 優勝 美濃加茂中学校
- 二位 池田中学校
- 三位 高山北クラブ
- 竹鼻中学校
- 五位 各務原中央中学校
- 郡上中クラブ
- 高山西クラブ
- 多治見中学校



中学校剣道新人大会 男子優勝

- 女子団体の部**
- 優勝 郡上東中学校
  - 二位 不破中学校
  - 三位 長森中学校

- 五位 郡上北クラブ
- 高山北クラブ
- 蘇南中学校
- 蘇南中学校

美濃加茂・西可児中学校合同



中学校剣道新人大会 女子優勝

◎**第一回岐阜県**

**中学校剣道育成大会**

十二月七日

岐阜メモリアルセンター

中学生になり、部活動やクラブ・少年団等で剣道を始めた選手を対象に、県大会（個人戦）を行った。この大会は、剣道競技のすそ野を広げ、将来にわたって剣道を継続していこうとする選手を多くしていきたいという願いから、連盟主催で実施した。内容は、リーグ戦からのトーナメント戦（トーナメントの部）と、リーグ戦敗者によるトーナメント戦（チ

ャレンジトーナメントの部）を行った。試合を多くすることで、同じような経験年数の選手同士が互いに目標をもち、今後も稽古に励むことができるように配慮した。

**男子トーナメントの部**

- 優勝 中野 元琥（多治見中学校）
- 二位 直井 貫汰（八幡中学校）
- 三位 大塚進之介（旭ヶ丘中学校）
- 宮崎 琥央（伊自良中学校）
- 敢闘賞 尾関 泰知（那加中学校）
- 小木曾成伸（瑞浪中学校）
- 山本 暁登（高山北クラブ）
- 松崎 大弥（青山中学校）
- 男子チャレンジトーナメントの部
- 優勝 高橋 勇樹（糸貫中学校）
- 二位 新美 颯太（高山西クラブ）
- 三位 小栗 颯斗（小泉中学校）
- 小野島歩夢（岐阜西中学校）



育成大会 男子トーナメント入賞者



育成大会 男子チャレンジトーナメント入賞者

**女子トーナメントの部**

- 優勝 小石 青空（蘇南中学校）
- 二位 伊佐治彩香（蘇南中学校）
- 三位 堀 沫叶（各務原中央中学校）
- 高山 渚（那加中学校）
- 敢闘賞 目次 眞子（郡上東中学校）
- 櫻井心乃花（蘇南中学校）
- 田原 柚葵（蘇南中学校）
- 堀場 彩李（岐南中学校）
- 女子チャレンジトーナメントの部
- 優勝 藤井 蒼寧（美濃加茂西中学校）
- 二位 児島 花歩（穂積中学校）
- 三位 武仲 怜（羽島中央中学校）
- 大島 愛月（美濃加茂東中学校）



育成大会 女子チャレンジトーナメント入賞者



育成大会 女子トーナメント入賞者

◎優秀指導者招へい事業  
 〈ジュニア育成指導者講習会・  
 ジュニア強化指導者講習会〉

十月二十一日・十一月十一日・  
 一月二十日・二月三日  
 大垣市武道館他

剣道連盟が競技スポーツ課からの委託を受け、ジュニアのための指導者講習会を四回実施

育成講習会では、岡山県昇竜館一福道場館長 片山勝光先生を招き、中学校から剣道を始めた選手に対しての実技指導が行われた。中学校部活動顧問だけでなく、地域クラブの指導者の方々も参加し、生徒指導者合わせて97名もの参加で実施。片山先生は、中学生が卒業した後も稽古ができる環境や場を作っておくことが、将来にわたって剣道を続けたり再開したりすることに繋がっていくと話されました。

強化講習会は、神奈川県警高鍋進先生に指導をしていただき、中学生の強化について、実技指導を中心の講習内容。県内選手のレベルは決して低いわけではなく、継続して稽古を続けていくこと。指導者には、選手の良さを引き出してやれる指導者になっていくことの必要さを話されました。

今後の課題として、地域クラブが剣道指導の中心になっていく将来を考え、指導者の確保と、部活動と並行していくためにもジュニア事業を理解し、さまざまな事業への参画や指導に携われるような体制を作っていくことが必要と感じている。



強化指導講習会



育成指導者講習会

高校剣道の記録

岐阜県高等学校剣道専門部

加茂高等学校 柘植 未来

◎第七十一回岐阜県高校総体  
 兼第七十回全国・東海高校  
 総体県予選会

五月二十日(男女個人)

アテナ工業アリーナ

五月二十七日(女子団体)

アテナ工業アリーナ

五月二十八日(男子団体)

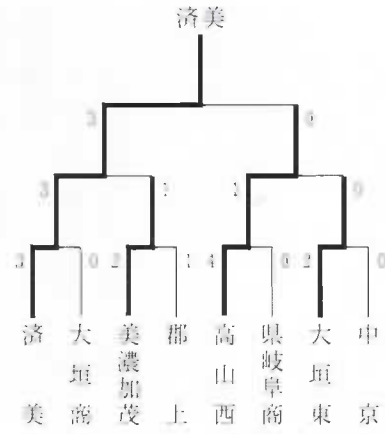
アテナ工業アリーナ

男子団体戦は済美が高山西を破り、優勝を果たし、初の全国高等学校総合体育大会への切符を手に入れた。女子団体戦は高山西が済美を破り、三年連続四回目の優勝を果たした。

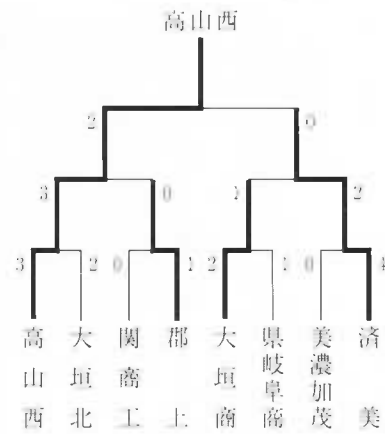
男子個人戦においては、美濃加茂の篠田が接戦を制し、優勝の栄冠を手に入れた。また、様々な学校の選手が活躍し、上位進出を果たした。女子個人戦では、高山西の選手が安定した試合運びで勝ち上がり、優勝を果たした若尾を含め、5人が入賞した。



男子優勝 済美



女子優勝 高山西



※優勝校が全国大会へ出場  
ベスト四人賞校が東海大会へ出場



男子上位入賞 4選手

- 【男子個人】(百二十九名出場)
- 優勝 篠田 大輝 (美濃加茂)
  - 準優勝 黒井 洸希 (済美)
  - 三位 近藤 亮輔 (岐阜)
  - 五位 鳥澤 亮 (済美)
  - 五位 古山 想羅 (済美)
  - 五位 井上 遼一 (岐阜)
  - 五位 竹内 佑 (大垣北)
  - 五位 辻川 晏都 (県岐阜商)



女子上位入賞 4選手

- 【女子個人】(九十一名出場)
- 優勝 若尾 樺子 (高山西)
  - 準優勝 松本 美佳 (済美)
  - 三位 佐藤 寿姫 (済美)
  - 五位 鈴木 滯 (高山西)
  - 五位 鷺見はるか (郡上)
  - 五位 塩田 円佳 (高山西)
  - 五位 工藤 凜 (高山西)
  - 五位 小山 詩乃 (高山西)

◎第七十回東海高等学校  
総合体育大会

※上位二名が全国大会へ出場  
上位八名が東海大会へ出場

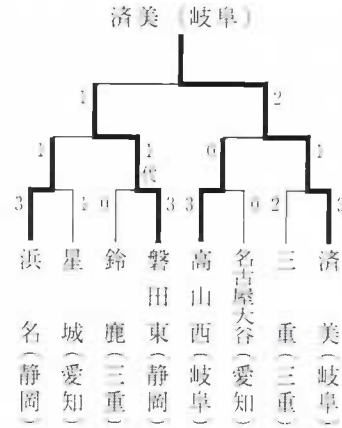
六月十七・十八日

静岡市中央体育館(静岡県)

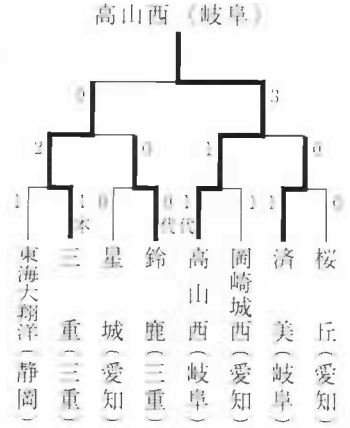
団体戦は、男子は済美、女子は高山西が優勝し、男女とも見事に岐阜県が東海の頂点に立った。また、男子団体において高山西、女子団体において済美が三位に入賞し、好成績を取めた。

個人戦は、男子個人において済美の古山が五位入賞、女子個人において高山西の若尾が三位入賞、済美の佐藤が五位入賞という結果であった。

【男子団体】 決勝トーナメント



【女子団体】 決勝トーナメント



◎第七十回全国高等学校総合体育大会

八月三日、六日  
帯広市総合体育館（北海道）  
団体戦では男女とも予選リーグ敗退という結果で終わってしまったが、個人戦

では高山西の若尾がベスト十六まで勝ち上がった。

【男子団体】

予選リーグ敗退  
第一試合 済美 二二一 甲府商業（山梨）  
第二試合 済美 二二二 三養基（佐賀）

【女子団体】

予選リーグ敗退

予選リーグ

第一試合 高山西 〇一一 興南（沖縄）  
第二試合 高山西 〇一四 明石（兵庫）

【男子個人】

一回戦 篠田 大惺（美濃加茂・三年）  
二回戦 篠田一ノ忠政（玉島・岡山）  
黒井 沈希（済美・三年）

【女子個人】

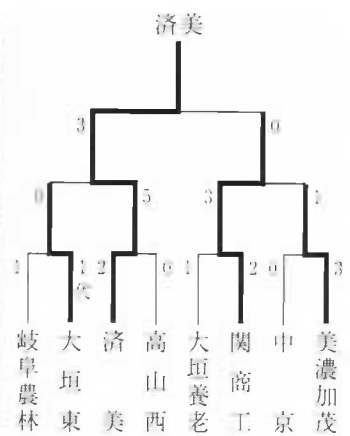
一回戦 黒井ドコメ三浦（橋本・和歌山）  
二回戦 黒井一ノ北原（三養基・佐賀）  
若尾 樺子（高山西・三年）ベスト十六  
二回戦 若尾メー阪口（奈良大付属・奈良）  
三回戦 若尾メー山田（星野・埼玉）  
四回戦 若尾一ツ武藤（仙台・宮城）  
松本 美佳（済美・三年）  
一回戦 松本一ツ平瀬（清明学院・大阪）

◎第五十回岐阜県高等学校剣道大会

八月十一日  
アテナ工業アリーナ  
新メンバーでの構成で臨むチーム、三

年生が現役高校生選手として最後の出場をするチームが混在する大会である。結果は五月に開催されたインターハイ予選と同じく、男子においては済美、女子においては高山西が優勝の栄冠を手に入れた。  
新チームでありながら十分な実力を備えたチームも多くあり、今後の成長に期待が高まる試合となった。

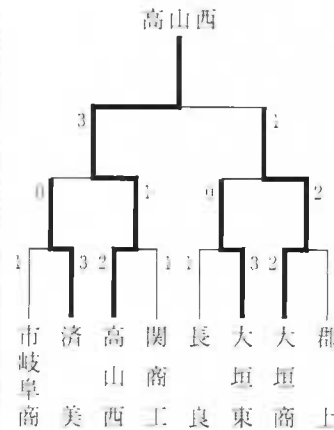
【男子団体】（三十七校出場）



男子優勝 済美



【女子団体】（三十二校出場）



女子優勝 高山西



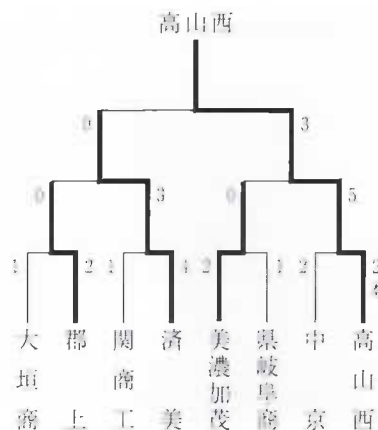
◎第六十九回岐阜県高等学校剣道新人大会

十一月十八日（男女個人）  
アテナ工業アリーナ  
十一月二十三日（男女団体）  
下呂交流会館  
個人戦は全員参加の大会であり、白熱した試合が展開された。混戦を極める中、





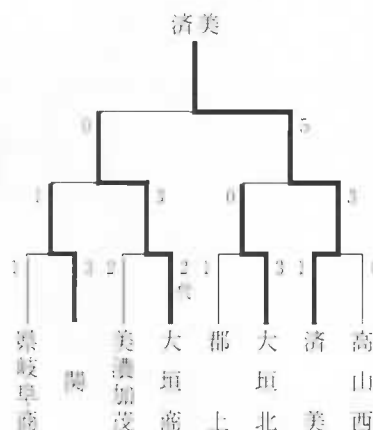
男子優勝 高山西



男子個人においては済美の石井、女子個人においては高山西の小山が優勝の栄冠を手に入れた。  
団体戦においては、男子は高山西、女子は済美が優勝を果たした。  
【男子団体】(三十校出場)



女子優勝 済美



【女子団体】(二十五校出場)

【男子個人】(二百四十名出場)

- 優勝 石井 孝介 (済美)
- 準優勝 立花 漱一朗 (長良)
- 三位 柴田 權史 (済美)
- 吉川 知希 (吉城)

【女子個人】(百二十七名出場)

- 優勝 小山 詩乃 (高山西)

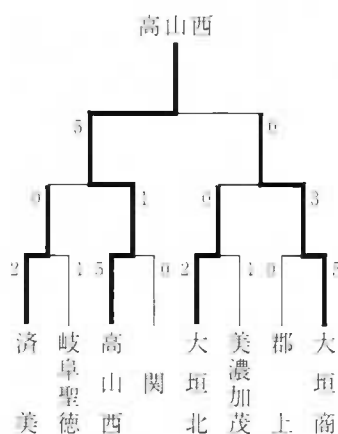


女子上位入賞 4選手

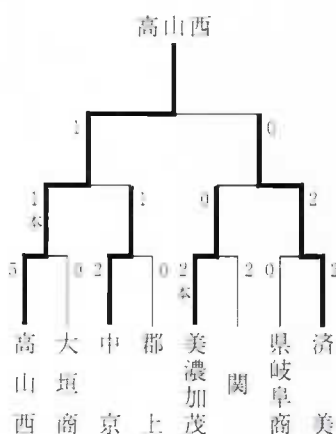


男子上位入賞 4選手

- 準優勝 石原 彩伽 (高山西)
- 三位 山田 遙 (済美)
- 鈴木 遙 (済美)



【女子個人】(二十八校出場)



【男子個人】(三十四校出場)

男子団体戦は、十一月に開催された新人戦に引き続き高山西が優勝を果たした。女子団体戦は、新人戦で辛酸を舐めた高山西が決勝で済美を破り優勝を飾り、男女とも高山西が全国への切符を手に入れた。優勝校は三月に開催される全国選抜大会へ、五位入賞校は二月に開催される東海選抜大会に出場する。

一月十三日

OKBぎふ清流アリーナ

◎第三十三回全国高等学校  
剣道選抜大会兼第十回東海高等学校  
学校剣道選抜大会岐阜県予選会

# ◎第十回東海高等学校 剣道選抜大会

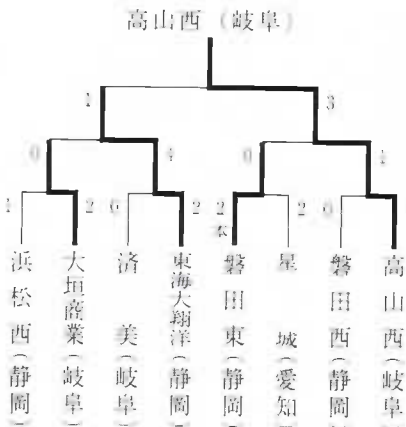
二月十八日  
DMGMORIAアリーナ (三重県)



女子優勝 高山西



男子優勝 高山西



〔女子団体〕 (三十二校出場)



〔男子団体〕 (三十二校出場)

男女とも岐阜県一位の高山西が、実力を発揮し、見事にアベック優勝を果たした。三月に開催される全国高等学校剣道選抜大会でも、大いに期待される。また、男子では済美が五位入賞、女子では大垣商業が三位入賞、済美が五位入賞を果たした。



# ◎第三十三回全国高等学校 選抜剣道大会

三月二十六日、二十八日  
春日井市総合体育館

今年度は、男女とも高山西が出場した男女とも初戦敗退という結果で終わった

〔男子団体〕

○高山西

一回戦

高山西 一―二 鹿商 (鹿児島)

〔女子団体〕

○高山西

一回戦

高山西 一―一本 長崎日大 (長崎)

# 警察剣道

監督 白川 順一

令和5年度の警察剣道は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となり、各大会が通常の形式で行われました。令和5年8月2日、中部管内警察剣道大会が愛知県武道館において開催されました。6県(岐阜、愛知、三重、福井、富山、石川)の総当たりリーグ戦で行われ、3勝2敗の3位でした。結果は以下の通りです。

岐阜県警 2―4 愛知県警

岐阜県警 3―2 福井県警

岐阜県警 1―3 石川県警

岐阜県警 4―2 富山県警

岐阜県警 2―1 三重県警

令和5年9月5日、全国警察剣道選手権大会（個人戦）が日本武道館において開催されました。トーナメント戦の一本勝負で行われ、結果は以下の通りです。  
1回戦

大野 祐史 一メ 清家 羅偉（大阪府警）  
伊藤 雄平 一メ 貞久晃太郎（山口県警）  
外山 菜緒 メー 山村 有沙（長崎県警）  
小池 真尋 一コ 境 桃花（千葉県警）  
2回戦  
外山 菜緒 一メ 高橋 萌子（神奈川県警）

令和5年10月24日、全国警察剣道大会（団体戦）が日本武道館において開催されました。男子団体は第2部で出場し、リーグ戦2敗で、第3部に降格となりました。結果は以下の通りです。

岐阜県警 1-3 奈良県警  
岐阜県警 2-3 千葉県警  
女子団体（3人制）については、トーナメント戦で行われ、結果は以下の通りです。  
岐阜県警 1-2 大分県警

各大会とも、目標とする成績を残すことはできませんでした。課題が多く残る一年となりましたが、来年度は、この悔しさを忘れることなく、課題の修正を行い、管区大会優勝、全国大会第3部優勝、2部昇格を目指し、特練員が一丸となり、訓練に励んでいきたいと思えます。



# 学校剣道 連盟の活動

## ◎第六十五回全国教職員 剣道大会県予選結果

六月三日（土）  
大垣養老高校 武道場

団体  
監督 杉田 龍彦 富田高校  
先鋒 堀江 陸 富田高校  
次鋒 井原 良明 吉城高校  
中堅 長屋 貴則 岩野田中学校  
副将 藤井 秀人 美濃加茂西中学校  
大将 杉田 龍彦 富田高校  
個人  
男子の部 栗山 大輝 池田中学校  
女子の部 藤川みなみ 桜ヶ丘小学校

## ◎第六十五回全国教職員 剣道大会結果

令和五年八月十日（木）  
於 島根県松江市総合体育館

団体戦  
一回戦 岐阜 0-3 神奈川  
個人戦  
男子の部（栗山 大輝）  
一回戦 栗山 メーメコ 軽米（奈良）  
女子の部（藤川 みなみ）  
一回戦 藤川 一コ 牛木（東京）

## ◎岐阜県高校剣道大会結果

（詳細は高校剣道の記録参照）  
八月十一日（金・祝）  
於 アテナ工業アリーナ

## ◎岐阜県学校剣道連盟 指導者講習会

十月二十八日（土）  
於 飛騨高山高校武道場  
講師として、杉田龍彦先生（富田高校）を招聘。

「冴えた打突を生むための素振りと手の内」をテーマに手の内の作用についての講義をおこなった後に、稽古法指導を行った。各学校での指導を行う際に気を付けるべきことを学ぶだけでなく、自らの技能向上を図る良い機会となった。参加者は熱心に受講された。

## ◎第五十六回岐阜県 教職員剣道大会

十月二十九日（日）  
於 飛騨高山高校体育館  
男子団体優勝  
岐阜Aチーム

監督 杉田 龍彦  
選手 堀江 陸 栗山 大輝  
岩佐 健太 杉田 龍彦  
二十代の部 優勝 堀江 陸  
準優勝 栗山 大輝  
三十代の部 優勝 岩佐 健太  
準優勝 三尾 智之  
四十代の部 優勝 河合 秀俊

# 道場連盟 の活動

## ◎第四十八回岐阜県道場 少年剣道大会

五月三十一日（日）

メモリアルセンターで愛ドーム  
夏に日本武道館で開催される全国道場少年剣道大会の予選会を兼ねる岐阜県大会に、四十五団体、団体戦一三六チーム・個人戦一二六名、延べ五八二名の選手が参加しました。

〔団体戦の成績〕  
※小学生低学年の部〔二十四チーム参加〕  
（各団体から選抜一チーム参加五人制）  
優勝 志道館学園  
準優勝 雙柳館前一色道場  
第三位 悟道館後藤道場  
一剣

※小学生高学年の部〔四十八チーム参加〕  
（各団体から選抜二チーム参加三人制）  
優勝 誠心剣友会B  
準優勝 大垣西部剣道少年団A  
第三位 さくら会少年剣道部B  
大和豊心館道場B

準優勝 坂本 裕史  
優勝 藤井 秀人  
準優勝 那須 貴  
（事務局 平澤 直弥記）

〔全国出場団体（ベスト4プラス）〕

・雙柳館前一色道場・下有知剣道少年団A・志道館学園B・池田剣道場・剣林館道場・一剣B・清心会・羽島市剣道教室A・中央剣道少年団・賜生道場B・双葉剣道少年団B・一剣A

※中学生の部〔六十四チーム参加〕

〔各団体から選抜二チーム参加三人制〕

優勝 志道館学園A

準優勝 桐生町少年剣道教室A

第三位 志道館学園B

〃 那留剣道スポーツ少年団A

〔全国出場団体（ベスト4プラス）〕

・八心会A・八心会B・大垣西部剣道少年団A・悟道館後藤道場A・さくら少年剣道部A・池田剣道場B・清心会・飛騨国府剣士会A・羽島市剣道教室A

### 〈個人戦の成績〉

〔各団体から選抜一名参加〕

※小学生男子県代表者賞〔三十一名参加〕

鈴木 蒼人（一剣）

森 奏斗（神武館神山道場）

※小学生女子県代表者賞〔二十九名参加〕

川島悉花瑠（誠心剣友会）

和田 衣真（那留剣道スポーツ少年団）

※中学生男子県代表者賞〔三十四名参加〕

大野 温史（桐生町少年剣道教室）

松浦 崇大（緑苑剣道少年団）

※中学生女子県代表者賞〔三十二名参加〕

大野 夏鈴（桐生町少年剣道教室）

川島萌々華（誠心剣友会）

## ◎第四十一回岐阜県道場

### 対抗剣道大会

六月十八日（日）

メモリアルセンター剣道場

（先）小学生（次）中学生（中）二十九歳以下（副）三十歳以上（大）四十歳以上という年齢制限の下、自団体で三年以上修行している選手のみでチームを構成し、道場が一枚岩となって、弟子から師へ襷を繋ぎ、今年度岐阜県優勝団体の栄冠を目指す本大会に、今年は十二団体が参加しました。師弟で力を合わせ、剣道を丸一日楽しもうと、三チーム四リーグ戦を行い、各リーグの一位二位による決勝トーナメント戦を実施し、上位二チームに全国大会出場権が与えられました。

### 〈団体戦の成績〉 県代表団体賞

《優勝》志道館学園

（監）加藤 隼人（先）三宅 翔大

（次）三宅陽一朗（中）菱田 和輝

（副）加藤飛雄馬（大）加藤 洋基

《準優勝》桐生町少年剣道教室

（監）水小瀬直樹（先）瀬木 慎平

（次）大野 温史（中）長瀬 隼人

（副）瀬木 広之（大）東森 洋介

## ◎第四十六回体験実践発表 岐阜県予選並びに稽古会

十月一日（日）

メモリアルセンター剣道場

勝った負けたの向こう側に…。剣道を通じて何を学び実践し、人として如何に成長したかを発表する大会に十一団体、百二十名の剣士と二十名ほどの指導者、

百名近い保護者が集い、小学生四名、中学生六名の発表に耳を傾け、心を振るわせ、発表会終了後、基本指導、指導者への掛かり稽古、地稽古を行い、共に、汗を流しました。

### 〈小学生県代表者賞〉

山田 わ華（蘇原第二剣道少年クラブ）

〔剣道で努力していること〕

二位 藤原 宏旭（悟道館後藤道場）

### 〈中学生県代表者賞〉

的場 紅羽（悟道館後藤道場）

二位 山田 彩都（羽島市剣道教室）

## ◎各地区大会の実施

・飛騨地区大会 十二月十日 高山市

・加茂地区大会 三月十日 八百津町

・岐阜地区大会 三月十日 各務原市

・中濃地区大会 三月十日 美濃市

### ※〔本年度登録数〕

・加盟団体数 四十三団体

・会員登録選手数 七百二十一名

（文責）岐阜県剣道道場連盟事務局長 早矢仕克己

# 実業団の活動

中止していた岐阜県実業団剣道大会を4年ぶりに規模を縮小し、年齢別個人戦は中止、男女団体戦（3人制）のみ開催しました。

コロナ感染拡大前は、男子70チーム、女子20チーム、個人戦200余名と多くのチーム、選手に出場して頂いていましたが、今回、男子24チーム、女子4チーム、選手90余名と出場チーム数が減少となりました。男子は予選リーグと決勝トーナメント、女子は4チームがリーグ戦で対戦。各試合場、多くの熱戦が繰り広げられ以下の結果となりました。

### 男子団体

優勝 エヌテックA（坂口・内村・三浦）

準優勝 日本耐酸塩（稲葉・大木・野見山）

3位 志道館志友会（菱田・安田・森本）

エヌテックB（川村・桐原・絹川）

### 女子団体

優勝 パローホールディングス（境井・市来・宮田）

準優勝 イベデン（藤野・大島・伊藤）

3位 Ks会（赤尾・大塚・小木曾）

藤原建設（尾河・坂東・中間）

来年度、第48回岐阜県実業団大会は以前のように年齢別個人戦、男女団体戦の実施が出来る様準備を進めてまいります。また、合同稽古会も再開する計画をしていますので合わせて参加をお願い致します。

（記）岐阜県実業団剣道連盟

理事長 都竹直孝

## ◎実業団活動報告

本年はコロナウィルス感染症の影響で

# 居合道の活動

## ◎第五十八回全日本居合道大会

監督 香村 茂

令和五年十月二十一日、東京都足立区綾瀬の東京武道館において開催されました。

コロナ感染も終息近くになりましたが、大会では対策に十分に気を使われ日程等、時間割の設定、会場内では密にならないよう細かな係員の指示に従って行なわれました。

コロナ禍にあっても、すべての都道府県が大会に参加されました。

岐阜県から監督は香村茂、五段 村橋祐輝、六段 五十嵐啓司、七段 志津野泰幸、補助監督は参川憲昭、渡辺直が参加しました。

今年は例年がない猛暑になりましたが強化選手は熱中症と闘いながら厳しい強化稽古を乗り越えて大会に臨みました。

指定技は四回戦まで「受け流し」「諸手突き」「四方切り」「準決勝戦と決勝戦は「柄当て」「添え手突き」「総切り」でした。

試合は七段の部は志津野選手で一回戦は兵庫の盆子原選手に1対2で敗退、六段の部の、五十嵐選手は一回戦シードで二回戦は鳥取の花田選手に1対2で敗退、五段の部は村橋選手、一回戦は佐賀の末

次選手に3対0で勝利、二回戦は石川の田中選手に3対0で勝利、三回戦は山梨の長久保選手に惜しくも1対2で敗退しましたが村橋選手の健闘により岐阜県の総合成績は二十位でした。

全日本大会を終えて今後の課題として、技は正確に、仮想敵を倒す為の間と間合い、緩急強弱、気魄、残心等、強化稽古を通して居合道部全員で取組み、来年度以降の全日本大会には、今回より上位の成績が残せるように努力いたします。

## ◎第五十一回岐阜県居合道大会

古橋 節次

令和五年六月四日(日) 岐陽体育館にて開催された。コロナも終わりに近づきマスク姿が見られる中、県内各地より役員選手約百有余名が参加して盛大に行われ、岐阜連理事長下島貴代一先生も忙し中臨席された。開会式に引き続き八段、参川、香村、古橋の三名による公開演武、続いて七段三組、十二名による予選三試合があった。この後二試合場に於いて初段以下の部から六段の部までの試合は展開し各部共、選手の技前は厳しい稽古の成果が現れ、見ごたえのある立派な演武が観られた。又、会場は熱気に溢れ大会はいやが上にも盛り上がった。

指定技は次の通り、受け流し、三方切、顔面当て、総切りであった。寸評、技前は決められた事を決められた様に角なく力強く丸く抜くように心掛けてほしいものです。成績は次の通り

### 地区別団体成績

- ①岐阜地区
- ②西濃地区
- ③飛騨地区

### 個人段別成績表

初段以下の部

- ①宮田康仁郎(岐)
- ②浅野 勉(岐)
- ③林 良樹(岐)

二段の部

- ①田中みのり(西)
- ②後藤 淳(岐)
- ③岡島 梨花(岐)

参段の部

- ①尾崎 嘉秀(岐)
- ②藤沢 宗可(岐)
- ③松枝 洋治(飛)

四段の部

- ①平賀 友大(岐)
- ②古田 宮紀(岐)
- ③丹羽あおい(岐)

五段の部

- ①村橋 祐輝(岐)
- ②安藤 健介(岐)
- ③澤田 健(岐)

六段の部

- ①五十嵐啓司(岐)
- ②栗本 英(岐)
- ③植林 優(可)

七段の部

- ①志津野泰幸(岐)
- ②渡辺 直(岐)
- ③矢澤 夏女(岐)

## ◎居合道中央・地区講習会

(栃木)

香村 茂

令和五年七月二十二日～二十三日の両日、栃木県小山市栃木県立県南体育館に

て開催され、岐阜県から香村茂が派遣受講しました。

一日目、開講式で真砂威全剣連副会長のご挨拶と白石正範栃木県剣道連盟会長の歓迎と激励のご挨拶、役員・講師の紹介、草間純市居合道委員長から挨拶と日程説明と改訂された居合道試合・審判規則の紹介がありました。

その後、草間講師の解説で、全剣連居合の十二本目の内、一～六本目を勝瀬文孝講師、七～十二本目を桑田孝博講師が演武を行ない「指導上の留意点」を基本に説明された。

詳細に無駄のない理に合った相手を攻める為の動作、真剣勝負の心境で十分に稽古をするようにと指導された。

午後より段別に分かれ全剣連居合の実技を各講師より受講しました。

二日目、審判実技講習は、全日本居合道大会審判要領と改訂版に基づき段別に審判実技講習を実施し、勝敗の判定基準に基づいて適正公平な判定と入退場・交代・審判旗の取り扱い方法などの講習を受けました。

午後から古流の研究、各流派から代表者による技前の解説と演武の披露がありました。

閉講式で草間委員長から二日間の熱心な受講への感謝の言葉があり、小倉昇審議員から気魄の充実した居合人になれるように努力してほしいと挨拶があり二日間の講習会を終了しました。

二日間受講したことを県内に正しく伝達し斯道発展に努力致します。

## ◎岐阜県居合道伝達講習会

香村 茂

令和五年九月二十四日、岐阜市総合体育館において五十二名の参加を得て伝達講習を実施した。午前中は全日本剣道連盟居合の礼法から十二本目までを居合道解説書と新しく居合道委員会から出された「指導上の留意点」を参考にして矢澤教士七段の演武、香村の解説で実施した。解説のあと全剣連居合の実技指導は勝敗の判定基準を考えた稽古をするように、また居合道解説書には、高さ、角度、方向など詳しく記載されているので、基本に戻って全剣連居合の一本目を十分に稽古するように指導しました。

午後から審判実技講習を六・七段の十二名で試合者・審判員を交互に実技指導した。旗の表示要領、交代の仕方など、特に七段は県外の大会で審判をする機会が多いので審判の正しい動作、態度を繰り返し講習しました。

## ◎第五十四回東海四県対抗居合道大会

監督 志津野 泰幸

令和六年三月三日、愛知県千種スポーツセンターにおいて、第五十四回東海四県対抗居合道大会が開催された。

審判・監督会議において前・受け流し・諸手突き・添え手突き・四方切りが指定された。第一試合は前年度優勝の愛知県戦。初戦ということもあり、どちらも硬さが目立つ戦いであったが岐阜県の勝ち数は副将、大将の二名という厳しい

戦いとなった。第二試合の三重県戦は四将までは五分の戦いであったが、三将が敗退し後がなくなる厳しい展開も、続く副将、大将が危なげない戦いぶりでの勝利した。残る第三試合は二位を賭けての静岡県戦。全員が思い切った業前で善戦したが旗本数二本の僅差で惜敗した。

顧みれば、平成十四年岐阜県主催の第三十一回大会に生意気にも小生武段の分際で先鋒として出場させていたから二十余年。以来当県は優勝から遠ざかっている。今大会の試合内容を細やかに分析すると四県の実力は拮抗しており、勝敗の分かれ目はわずかな差であると思われる。選手の方々には来年度の当県主管大会に向けて以下の三点を挙げるので、今後の課題として頂ければ幸甚である。

①力強い「抜き付け」「抜き打ち」「切り付け」②「動」から「静」への微動だにせぬ俊敏な切り替えと体の切れ。③仮想敵に対する激しい気魄。

文末ながら一二月より三か月にわたり毎週の強化稽古に参加し真摯に取り組んでいただいた強化選手の方々、指導に当たっていただいた審判員の先生方、また特別講師としてご指導賜りました香村先生、参川先生、辻先生に感謝申し上げます。

## 事務局だより

### 令和五年度全剣連表彰

剣道の振興に寄与したとして、次の方が団体が全剣連より表彰されました。

### 剣道有功賞

篠原 紘一 先生

剣道教士 七段

岐阜県剣道連盟常任理事や中津川剣道協会会長を歴任し、岐阜県剣道連盟相談役の役割に就くなど、長年にわたり岐阜県の剣道発展のため、寄与されました。また、地域においても、少年から大人に至るまで、幅広い層に対し、剣道指導を行うなどその功績は大である。

### 少年剣道教育奨励賞

稲羽東剣道少年団

活動期間 昭和五十七年九月、現在  
イ 会員数 指導者五人・少年十九人・高校生一人

ウ 基本稽古を主に活動を続けている。特に、剣道を通して人を思いやる気持ちを持たせ、健全な身体、辛いことでも耐え忍ぶ強い精神力を養うことを目指すとともに、地域社会に貢献できる一員になれるよう活動している。

エ 活動日数 週二回(月・土)

### ◎大垣市東部剣道スポーツ少年団

ア 活動期間 昭和五十六年四月、現在  
イ 会員数 指導者三人・少年五人  
ウ 剣道修練を通じて、武道として、礼儀を重んじ、心身を鍛え技を磨き、健康な身体と健全な心を持った青少年の育成に努めるとともに生涯スポーツとして続けることを目的に活動している。

エ 活動日数 週二回(火・木)

### ◎中野方少年剣道クラブ

ア 活動期間 昭和六十年四月、現在  
イ 会員数 指導者一人・少年二十二人  
ウ 剣道を通じ心身の鍛錬と健全な育成を目指し、地域に密着した活動を続けている。

特に、基本稽古を中心に、集中すること、努力することを指導方針としている。

エ 活動日数 週二回(木・土)

### 訃報(敬称略)

★田中 春雄(剣道教士七段)  
岐阜県剣道連盟元常任理事  
令和5年5月3日 逝去(86才)  
★河野 勝彦(剣道教士七段)  
岐阜県剣道連盟揖斐支部長  
令和6年1月4日 逝去(79才)

